



図書館だより



瑞穂野中学校

- 「体力、気力、努力」 -

冬休み中、部活や勉強に忙しかった人、年末年始の特番を観た人、様々だったとは思いますが、まとまった時間を有意義に使えたでしょうか？1月スタートのNHK大河ドラマでは『いだてん〜東京オリムピック噺〜』が始まり、「日本マラソンの父」といわれる金栗四三さんが主人公の一人となっています。金栗さんは生涯で計3回、オリンピックに参加した他、日本の選手を育てるためには駅伝が必要だと呼びかけ、今の「箱根駅伝」を作りました。決して天才ではなかったそうですが、勉強でもスポーツでも、とにかくコツコツと努力をした人だったそうです。熊本県にある金栗さんの碑には、彼が大切にした言葉『体力、気力、努力』が刻まれています。



『金栗四三
〜消えたオリムピック走者〜』
佐山 和夫 (潮出版社)

読書アンケートの結果をお知らせします！



宇都宮市の調査で、瑞穂野中学校の各学年1クラスを抽出し、読書アンケートをとりました。

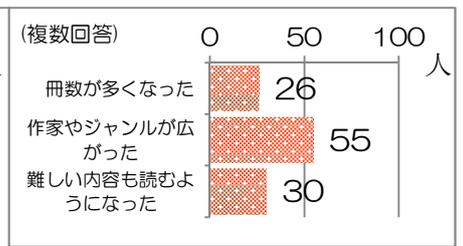
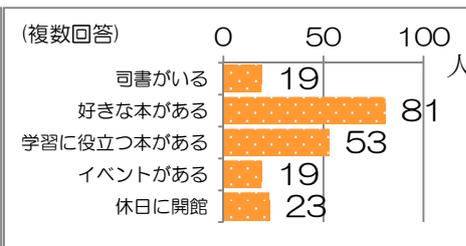
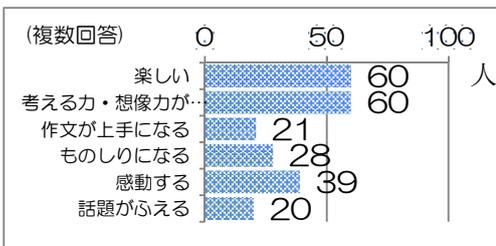
「本を読むことが好き・ふつう」と読書に対して肯定的な回答が、今年度も95.7%と、例年高い割合を占めています。中でも「好き」と答えた生徒の割合については昨年度よりさらに7.9%アップし、嬉しく感じているところです。この1か月間に読んだ本はおよそ6冊で、昨年度よりやや減ったものの、2018年全国学校図書館協議会調査の冊数(4.3冊)を上回りました。また、学校図書館に望むことについて『イベントがある』と答えた生徒が増加傾向にあり、全校でのビブリオバトルなど、読書に関する活動の意義を感じているところです



「あなたは、読書について
どのように考えていますか。」

「学校図書館(学校の図書室)
に望むこと。」

「この1か月に読んだ本について、
あてはまるもの。」



(瑞穂野中学校 有効回答数計 93 人の集計結果)



読書のすすめ



○先月に引き続き、先生方からおすすめの図書を紹介します。

紹介して下さった先生	本の題名	著者	おすすめポイント
綱川 先生	激突！北関東3県「だっぺ」の本気(マジ)バトル	岡島 慎二	何かにつけてライバル心を抱いてしまいがちな茨城、栃木、群馬の北関東3県。さあ、栄光の北関東ナンバーワンの座はどの県に！?
大内 先生	本屋さんのダイアナ	柚木 麻子	それぞれの道を歩み成長した二人が、幼い頃に共に読んだ物語の一節に力をもらい、困難に立ち向かっていく姿に勇気をもらえる一冊です。
高野 先生	茶色の朝	万寿・パヴロフ	「なんか変だ、おかしい…」と思っているも全体の流れに逆らわずその疑問を封印する態度への反省と、考え続けることの大切さを気づかせてくれる本です。
山口 さん	友だち幻想	菅野 仁	程よい友達付き合いのありかたや、人間関係のモヤモヤが解消される糸口が見えてくる本です。

司書 高橋	沈黙のパレード	東野 圭吾	人々の愛憎が複雑に絡み合う、予測不能の結末。科学によって事件を解決する糸口はつかめるのか!?最新『ガリレオシリーズ』ぜひ味わってくださいね。
生田目 先生	ドクター・ヘリオットの犬物語	ジェームズ・ヘリオット	獣医さんであるジェームズ・ヘリオットの目をとおして描かれる犬たちは愛らしく、愛おしく、時に人間らしくもあります。先生の出会った犬たちに、皆さんも出会ってみてください。
武田 先生	ナゲキバト	リバーガール	穏やかな文章の中に、“人間の生き方”について様々な教えが投げかけられています。静かだけれど、大きくて深い感動を与えてくれ、これからの生き方に力を与えてくれる一冊。
増山 先生	この嘘がばれないうちに	川口 俊和	『コーヒーが冷めないうちに』の続編。今回のテーマは「嘘」。しかも自分を守るためのするい嘘ではなく、愛する人を守る気持ちが生み出した、不器用でやさしい「嘘」の物語。
入江 先生	鍛えて最強馬をつくる	戸山 為夫	今は亡き戸山為夫調教師が、ミホノブルボンをダービー馬に育て上げ、「窮すれば通ず」の精神で改革をしていく様子がかかれた作品です。
前川 先生	ブラック部活動	内田 良	部活動のこれからのあるべき姿について、エビデンスを元に、関係者のリアルな声を拾い上げ、明らかにしていきます。望ましい部活動のあり方を深く考えさせてくれます。
若島 先生	午前0時の忘れもの	赤川 次郎	大切な人、愛する人をバス事故で無くした人の元へ、メッセージが届けられます。メッセージを受け取った人たちが、とあるバス停に集まり…。
菊池 先生	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和	とある街の、とある喫茶店。そこには、不思議な都市伝説があった。過去に戻れる喫茶店で起こった、心温まる4つの奇跡の物語。じわあっときたのが第3、4話。
馬場 先生	人魚の眠る家	東野 圭吾	法律は必要なもの。でも人の気持ちは何でもかんでも法律のようにはいかない。考えさせられる本でした。「死」を考えることで、「生」に目を向けることができる。そんな本です。
磯 先生	銀翼のイカロス	池井戸 潤	出向先から東京中央銀行本店に復帰した半沢直樹に、頭取から大仕事が降ってきた。破綻寸前の航空会社、帝国航空の債権を担当せよというのだ。果たして、半沢の運命はいかに？
松岡 先生	バッタを倒しにアフリカへ	前野 ウルド 浩太郎	破天荒なバッタ研究で注目を集める著者。西アフリカのモーリタニア・イスラム共和国で、苦境を乗り越え、研究を続けてきた。好きなもので生きていくヒントを探った。
古田 先生	命の器	宮本 輝	作者の生い立ちや芥川賞をとるまでの経緯や作者をとりまく様々な人たちとの交流を述べ、人としての在り方やよりよく生きるといことについてエッセイとしてまとめたもの。
鈴木 先生	あと少し、もう少し	瀬尾 まいこ	感じ方や考え方が異なる6人が同じ目標に向かって、襻をつないでいきます。孤独感と重圧感に押しつぶされそうになりながらも、最後まであきらめずに走り切る姿に感動の一冊。
マーティン 先生	ロミオとジュリエット	シェイクスピア	二人の恋を反対されてしまうお話ですが、シェイクスピアは社会が私たちに圧力を与えても、自分たちの道を自由に選ぶべきである。というメッセージを込めたのだと思います。
黒後 先生	ラプラスの魔女	東野 圭吾	『ラプラスの魔女』というよりも、東野圭吾の推理小説がおすすすめである。その他『ナミヤ雑貨店の奇蹟』、『秘密』もよかった。
永田 先生	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和	家族、夫婦、恋人を思いあう上での多少のすれ違いがあり、それをちゃんと伝えることができることは素敵。日頃から「ありがとうとごめんなさいをきちんと言うこと」が1番大切。
久保木 先生	チーズはどこへ消えた？	アンソニー・ジョージ	2匹と2人のネズミと小人が「チーズ」を探しに「迷路」の中に住む。状況の急激な変化にいかに対応すべきかを説く深い内容です。あなたの対応力はネズミ？小人？
天海 先生	スポーツ栄養学	鈴木 志保子	エネルギー補給の仕方や食事の内容、必要な栄養素について詳しく書かれている。スポーツを行い、上位を狙いたい中学生には必読の書です！
水井 先生	マスカレード・ナイト	東野 圭吾	ホテルコルテシア東京ではカウントダウン・パーティーとしてマスカレードナイトを開催。しかしある密告状が警視庁に送られてきたのです。どのようにして犯人の仮面を見破るのか。
藤井 先生	一房の葡萄	有島 武朗	みなさんと同じくらいの年齢の「僕」が、友達のリョウから絵具を盗んでしまうところから話が始まります。「僕」の心情や「大好きな、あのいい先生」の行動に注目して読んでみてください。
稲毛 先生	世界から猫が消えたなら	川村 元気	主人公のボクは、医者に余命わずかだと宣告され、そこに現れた主人公と姿かたちがそっくりな「悪魔」。よみがえる記憶とともに消すべき命の選択に迫られる主人公が下した決断とは…。